

## プログラム

＜砧三章＞ 沢井 忠夫 作曲

箏Ⅰ：丸山 瑠美（学4）

箏Ⅱ：坂本 知亜子（学3）

十七絃：五十嵐 恵（助演・卒）

＜さらし幻想曲＞ 中能島 欣一 作曲

三絃：大友 美由奈（学4）

箏：谷富 愛美（院1）

フルート：小島 利重子（助演・院2）

＜あいの風＞ 山中 信人 作曲【初演】

津軽三味線：山中 信人（講師） 稲沢 茉莉（学3）

細棹三味線：杵家 光孝（助演・卒）

中棹三味線：大友 美由奈

＜**覲**<sup>（かむなぎ）</sup>～十七絃箏と打楽器のための～＞ 西村 朗 作曲

十七絃：谷富 愛美（院1）

打楽器：石川 勇人（助演・学4）

＜**四重華一番**＞ 藤井 凡大 作曲

三絃：大友 美由奈 稲沢 茉莉 杵家 光孝

箏Ⅰ：谷富 愛美 丸山 瑠美

箏Ⅱ：坂本 知亜子 産形 典子（助演・卒）

十七絃：五十嵐 恵 西 琴美（助演・卒）

司会／指導：西潟 昭子

指導：石垣 清美

企画：山口 賢治

## 曲目解説

＜**砧三章**＞ 沢井 忠夫 作曲

第一章と第三章は砧地をとり入れながら、リズムの絡みと流れを軽快に表現していきますが、間に挟まった第二章では、謡曲「砧」をテーマに置いて、秋の終りの寒々とした季節感、三連音による虫の声等、ドラマチックな表現が演奏者に要求されています。また十七弦には箏曲「五段砧」がバラフレーズされ、ここに古典と現代が綾なされます。1962年作曲。

【作曲者】

＜**さらし幻想曲**＞ 中能島 欣一 作曲

古典曲である「さらし」の旋律の中からいくつかの特徴的旋律を取り出し、それらを自由に変化発展させ、縦横に組み合わせた箏、三絃、フルートによる三重奏曲である。近年はフルートの代わりに尺八で演奏されることが多い。第1、3章はそれぞれのパートが手の込んだ早いパッセージを奏し、非常に緊張を持って絡み合う急速調、第2章はフルートの叙情的な旋律を表面に出した緩徐調となっている。1943年作曲。

【JSCM邦楽器による音楽づくりワークショップ・コンサートプログラムを参照】

＜**あいの風**＞ 山中 信人 作曲【初演】

春から夏にかけてのこの時期に日本海沿岸で吹く豊漁や豊作、そして幸せを運ぶ風ともいわれる穏やかな海風「あいの風」を、華麗で軽快な長唄三味線、重厚で身体に響き渡る地唄三味線、力強い撥さばきの津軽三味線という、演奏方法の異なる三本の音色で表現します。一口に「三味線」といいますが、使用する楽器、バチの当て方、左手の動きなど異なる面も多く、これまで一緒に演奏する機会が少なかった三味線同士の合奏曲。各ジャンルの持ち味を生かしつつ、融合していく三味の音色をお楽しみください。

【作曲者】



＜**覲**<sup>（かむなぎ）</sup>～十七絃と打楽器のための～＞ 西村 朗 作曲

韓国の伝統楽器であるカヤグムとチャングの音楽ヒントに作られた作品である。具体的には十七絃の調弦の一部にカヤグムの音階が取り入れられており、またリズムの流れにおいても韓半島の伝統音楽の特徴的リズムである”長短（チャンダン）”を用いている。古くは神降ろしの楽器であった箏の絃の響きと、振霊の打楽器の響きとが和して織りなす東アジアの巫女の舞のような舞曲を十七絃の力強い響きに託して表現されている。1992年作曲。

【CD菊池梯子／十七絃箏の世界より】

＜**四重華一番**＞ 藤井 凡大 作曲

NHK邦楽技能者育成会31期生の卒業演奏会で初演された作品です。NHK邦楽技能者育成会とは現代邦楽の演奏家を育成することを目的にNHKによって1955年に開講され2010年まで続いた育成機関でした。卒業演奏会はNHKホールやイイノホールなどで行われ、その模様はNHKでラジオ放送されていました。ほぼ毎年、卒業演奏会では新作初演が行われ、これらの作品は現在、邦楽合奏作品の重要なレパートリーになっています。



## プロフィール



西潟 昭子(客員教授)

1945年東京生まれ。東京藝術大学邦楽科卒業。三味線音楽の新しい領域を開く。1979年パムジークフェスティバル独奏部門第1位、ドイツ大使賞、審査員賞受賞。80年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。98年文化庁芸術祭優秀賞受賞。00年文化庁芸術祭大賞受賞。02年日本文化芸術振興賞(日本伝統文化振興賞)受賞。現在、三味線の古典、現代作品をレパートリーに活動。(財)日本伝統文化振興財団評議員、純正律音楽研究会理事、NPO法人現代三味線音楽協会理事長。CD「西潟昭子/現代の三絃」I~IV、日本音楽の巨匠「三絃-西潟昭子」「西潟昭子V/三味線とオーケストラの出会い」「西潟昭子/三絃名曲」(日本伝統文化振興財団)、「いちめんの葉の花」(ARCH)、西潟昭子と洗足音大の仲間たち「三絃の軌跡」~古典から現代へ~(SG.works)。楽譜「西潟昭子・選/現代の三絃」シリーズ出版著書「やさしく学べる三味線教本」(汐文社)、「日本音楽のちから」(汐文社)監修。



石垣 清美(教授)

沢井忠夫に師事。'77年初代石垣征山と第1回箏・尺八ジョイント・リサイタルを開催以来、各地で回を重ねる。'88年および'91年に文化庁芸術祭賞を受賞。コロムビアCD「石垣清美箏・十七絃の世界」「沢井忠夫デュオ作品集」「石垣清美・沢井忠夫をうたう」他発表。国際交流基金の派遣などにより国外各地を訪問。洗足学園音楽大学教授。桐朋学園芸術短期大学講師。沢井箏曲院教授。邦楽音心会主宰。NHK邦楽技能者育成会、京都女子大学卒業。



山中 信人(講師)

中学校卒業後15歳で単身弘前へ渡り、津軽三味線奏者山田千里(やまだちさと)の内弟子として修業。山田流師範となる。津軽三味線全国大会受賞多数(C級、B級優勝、A級入賞4回、唄付け伴奏部門優勝)。海外計10ヶ国で公演。小椋佳創作ミュージカル、中島啓江コンサート出演、佐山聡武道大会音楽担当などジャンルを超えた演奏活動もおこなう。約16年にわたり「南中ソーラン」など現代風にアレンジした民謡を演奏する伊藤多喜雄&タキオバンドのメンバーとして活動。現在はソロ奏者として演奏会、学校公演、講演会などで活動中。加須市観光大使。2011年5月4日青森県弘前市にておこなわれた津軽三味線全国大会「唄付け伴奏部門」にて優勝。



山口 賢治(講師)

東京都出身。1967年生まれ。青山学院大学理工学部物理科卒。尺八を青木鈴慕(人間国宝)、佐々木晴風、演奏法を石川憲弘に師事。第39期NHK邦楽技能者育成会卒。現代邦楽研究所研究科卒。NHK邦楽オーディション合格。ドイツ、オランダ、オーストリア、アメリカ、カナダ、中国等で演奏。コンサートシリーズ「尺八の現在」にて尺八を中心とする優れた現代作品の演奏と作品委嘱をライフワークとする。音楽づくりワークショップの制作やリーダーを務め、新しい音楽教育法を実践する。現在、山口尺八演奏研究室主宰。現代邦楽研究所主任・講師。邦楽創造集団オーラ)団員。書籍「和楽器にチャレンジ尺八を吹いてみよう」(汐文社)、CD「尺八の現在」(YSEK001)。洗足学園音楽大学伝統音楽デジタルライブラリーにて配信。

[http://www.senzoku-online.jp/traditional/03\\_shaku8.html](http://www.senzoku-online.jp/traditional/03_shaku8.html)



洗足学園音楽大学

【主催】洗足学園音楽大学・大学院 【後援】「音楽のまち・かわさき」推進協議会



NATSUON!  
2012  
6.28.Thu-7.29.Sun  
SENZOKU

# 邦楽コンサート

~アンサンブルの可能性~



2012年7月22日(日)

16:00開演【15:30開場】

洗足学園音楽大学 講堂



洗足学園音楽大学